



大森雅夫岡山市長、 学校別成績公表に、なぜ前向き？

川勝平太静岡県知事が、全国学力学習状況調査(全国学力テスト)の「結果は先生に責任がある」「反省材料にしてもらおう」と成績下位100校の校長名を公表するとしました。(実際は上位86校の校長名を公表)

成績公表により、「子どもの学力」が向上するといった単純な話ではなく、むしろ教育をゆがめる弊害が大きいと思います。学校を取り巻く教育環境や子どもをめぐる社会環境の改善で粘り強く「子どもの学力」向上に取り組むべきなのです。

最高裁判決—結果は公表しない

さかのぼりますが、1961年に全国学力テストが実施され、4年で中止となりました。1976年5月最高裁判決が次のように示しています。

「中学校内の各クラス間、各中学校間、更には市町村又は都道府県間における試験成績の比較が行われ、これらのものの間の成績競争の風潮を生み、教育上必ずしも好ましくない状況をもたらし、また、教師の真に自由で創造的な教育活動を畏縮させるおそれ絶無であるとはいえず」と最高裁判決は学力テストが教育に与える弊害を指摘、「学力調査実施要綱」によれば、試験問題の程度は全体として平易なものとし、特別の準備を要しないものとされ、個々の学校、生徒、市町村、都道府県についての調査結果は公表しないこと」と一定の配慮がされているため学力テストそのものは認めたのです。

大森雅夫岡山市長は山陽新聞で「子どもが切磋琢磨していくことは人間形成において非常に重要」と学校別成績公表に前向きようですが、学校間の成績競争が激化する事は、最高裁が指摘する弊害が激しくなるとおられます。11月議会で、市長にしっかり聞いてみたいと思います。

地区図書館研究会講演会「子どもの育ちと絵本の関わり」
(2013年11月14日岡山市立東公民館)

学校図書館司書H先生のお話は、「絵本の世界はこんなに楽しいよ」ということで、たくさんの物語

や絵本を紹介していただきました。

身近な体験が出てくる「どろんこようちえん」「はじめてのおつかい」「おやすみなさい」など。なかでも「だめだめ、ディジー」は、ディジーがおかあさんから「だめだめ、ディジー」と言われることをおかあさんがしているのをディジーが指摘すると「それはね…」とおかあさんが言い訳をするという絵本です。思い当たる節のある方いますよね。

「ピーターのとがみ」。これはピーターが思いを寄せる女の子にお誕生日会に来て欲しいので手紙を渡すという物語です。なんの変哲もないお話ですが、主人公は黒人のピーターです。お誕生日会には黒人も白人も女の子も参加しているという絵本です。

あまんきみこさんの「きつねのおきやくさま」は最初は大きくしてから食べようと思って大勢のお客様を迎えていたキツネがオオカミに食べられてしまうというお話で、子どもたちには少し厳しい内容かもしれませんがこういう絵本も必要だとのお話でした。子どもたちにはその時々に応じて興味関心にあったものを自由に選べる環境が必要です。一人になって自分と向き合う時間が大切であり、自分に必要なものを選択する力や自分の頭で考え心で感じられる大人になってほしいというお話でした。

「子どもたちが自転車でいけるところに公共図書館がほしい。」

「以前住んでいたところと違って岡山では図書館へは車でしかいけない」という意見をPTAなどで読み聞かせをしている若い方からいただきました。講演会で採択した「地区図書館早期建設に関するアピール」をもって、11月18日、岡山市教育長との懇談会を持ちます。

下市このみ事務所からのお知らせ

- ▼11月27日(水)～12月20日(金)11月定例市議会
 - ▼11月19日(火) まちづくり～おしゃべりネット ♪/10:00～12:00 下市このみ事務所
 - ▼11月24日(日) 第6回親睦旅行/しまね海洋博物館アクアス
 - ▼12月3日(火) 映画上映会/10:00～12:00/下市このみ事務所
- ※お申し込み問合せは下市このみ事務所まで

労働相談なんでもライン / TEL&FAX 086-270-5350 / 相談無料・秘密厳守